**第１回　大阪スーパーシティ協議会　会議要旨**

１　日　時　令和４年６月 14 日（火） 11：00～11:45

２　場　所　大阪市役所本庁舎５階特別会議室

３　出席者

吉村 洋文 大阪府知事

松井 一郎 大阪市長

松本 正義 公益社団法人 関西経済連合会 会長

立野 純三 大阪商工会議所 副会頭

生駒 京子 一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事

竹内 廣行 公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会 副事務総長

木村 透 三菱地所株式会社 執行役常務（うめきた２期開発事業者JV代表企業）

≪事務局≫

坪田 知巳 大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長

鶴見 一裕 大阪市CIO兼デジタル統括室長

川平 眞善 大阪府スマートシティ戦略部スマートシティ推進監

森山 文子 大阪市デジタル統括室スマートシティ推進担当部長

４　議　題

1. 今後のスーパーシティ協議会の進め方について
2. その他

５　議事要旨

1. 事務局から「大阪スーパーシティ協議会規約（案）」及び「今後のスーパーシティ協議会の進め方について」を説明し、了承された。
2. 意見等の概要は次のとおり。

・　大阪広域データ連携基盤ORDENの活用により、住民のQoL向上と、都市競争力の強化に繋げていくことを、計画にしっかり盛り込んでいく。

・　スーパーシティの制度を活用することで、さまざまな規制の壁を突破し、大阪で先端的なサービスの実装の展開を期待する。

・　先端的サービスを実施するメインプレーヤーは民間事業者であり、民間が使い易い仕組みを作っていくことが大事。

・　夢洲コンストラクションにおける複数分野のデータを有機的につなぐデータ連携基盤や規制緩和について、府市や関係事業者と一体となって進めていく。

・　スーパーシティの意義について多くの企業へ理解促進を図る。

・　未来の健康と医療のあり方、MaaS、コモングラウンドなどのこれまでの取組みを基に、さらに企業の参画を得て、新たなプロジェクトの創出につなげていく。

・　万博のテーマにも掲げる「いのち」にフォーカスすることは重要。

・　「大正の御堂筋」に取組んだ先人に倣い、今後のメガトレンドを見据え、将来において「令和のスーパーシティ構想」と言われるように取り組んでいく。

・　万博の成功に向けて、各項目について関係団体と連携して取り組み・検討してきた。スーパーシティ協議会の発足を契機に、検討の加速を期待する。

・　万博サービスとORDENとの連携等、「データ活用」は新たな会議体で検討予定。特にMaaSにおいて万博時の混雑解消に資するOSAKAファストパスの検討に期待。

・　うめきた２期のグリーンフィールドの特性を生かして、大阪でしかできない新しい技術やイノベーションにつながる取組みを進めていく。

・　うめきたエリアの先進的な取組みを実現するため、官民連携で進めていきたい。

６　会議資料

（１）　次第

（２）　出席者名簿

（３）　大阪スーパーシティ協議会規約（案）

（４）　資料１-１　大阪府・大阪市スーパーシティ構想（抜粋）

（５）　資料１-２　今後のスーパーシティ協議会の進め方について